No.599

広報 にのみや

「**笑顔がいっぱい**」（平成24年2月13日撮影）
　栄通り子育てサロンで「ぽこ・あ・ぽこ」による手遊び・歌遊びが開催されました。
　たくさんの子どもたちの笑顔であふれていました。

町の木　つばき

●今月の紙面

特集　二宮で子育て……②～⑦
地区長連絡協議会の活動……⑧
にのみや町民活動サポートセンター……⑨
浄化槽の正しい維持管理……⑪
平成23年度プレイバック……⑭など

http://www.town.ninomiya.kanagawa.jp/

安心して子どもを産み、育てられる環境づくり

町では、妊娠したことが分かったときから、安心して子どもを産み、育てられるようにさまざまなサポートをしています。

サポート① 健康診査などの補助

●妊婦健康診査費の補助

お母さんやお腹の中の赤ちゃんの健康のため、定期的に妊婦健康診査を受けることが大切です。

妊婦健康診査を受ける際の補助券を、母子健康手帳の交付時に発行しています。

この補助券を受診時に母子健康手帳と一緒に医療機関窓口へ提出すれば受診料の一部を軽減することができます。（7千円×1回分、3千円×13回分計4万6千円分）

●妊産婦歯科健診（無料）

妊娠中は、口の中の状態が変化し、むし歯や歯周疾患が発症しやすくなります。

生まれてくる子どもの歯を健やかに保つためには、お母さんのお口の中が健康であることが重要です。

妊娠中と出産後に歯科健診（歯科保健指導）を1回ずつ無料で受けることができます。

サポート② コミュニティーづくりのお手伝い

子どもを育てる上で、ママ友はとても心強い仲間となります。

ママ友のつくりやすい環境づくりを進めていますので、積極的に参加してママ友の輪を広げましょう。

●マタニティ教室

沐浴やマタニティランチなどがあり、出産前に知識を得ることで安心して出産をむかえることができます。

●離乳食講習会

離乳食は、赤ちゃんが初めて『食べもの』を口にする第1歩です。

赤ちゃんの発達や健康に直接かかわるため、プレッシャーになるママも多いと思います。この講習会で肩の力を抜き、リラックスして離乳食づくりができるように学べます。

●子育てスペース

子どもの年齢枠を設けて、同じ月齢の子どもの親が交流できる場として開設しています。

☆でんでんむし

1歳未満の乳児（原則として第1子）の保護者を対象に開設しています。

☆かるがも親子

原則1歳以上の乳幼児の保護者を対象に、毎月育児相談日に合わせて開設しています。

サポート③ 子育ての悩み解消

子育てに対して悩みがない方は1人もいません。皆さん何かしらの悩みを抱えながら子育てをしています。

そのため、抱え込んでしまっている子育ての悩みを解消できる事業を実施しています。

●こんにちは赤ちゃん訪問事業

悩みがあっても、相談をするために赤ちゃんを連れて出かけるのは一苦労です。

4か月までの赤ちゃんのいるご家庭に、保健師・助産師・看護師が訪問し、赤ちゃんの発育やママの産後の体調などについて相談を受けています。

また、民生委員・主任児童員も同行し、地域での子育てを支援しています。

●育児相談

発達、栄養、歯科などに関する相談を、専門スタッフがお話を伺いながらアドバイスします。

専門スタッフは、保健師・管理栄養士・歯科衛生士・臨床心理士などで、子育てだけでなくママの健康などの相談も行っています。

育児相談は毎月第4月曜に開催しています。

保健師から一言!!

育児相談を受けている中で、最近は自分1人で頑張りすぎたり、悩みを抱え込んでしまう方が増えたと感じます。

育児は母親1人でするものではありません。また、最初から完璧な親もいません。自分もママ1年生のつもりで周囲の手助けを借りて学びましょう。

「育児」は「育自」です。自分が親として成長する機会でもあります。子どもの成長は日々めざましく、過ぎてしまえば一瞬です。貴重なひとときを楽しく過ごせるよう応援しますので、何か気になる事があればお気軽にご相談ください。

町内で毎年約200人の赤ちゃんが生まれています。

小さな町だからこそできるサポートがあり、すぐにコミュニティーをつくれる環境があり、保健センターを身近に感じていただきたいと思います。

子育てに心配や悩みはつきものです。

子育て中の皆さんを町全体でサポートします。1人で抱え込まずお気軽にご相談ください。

問い合わせ
保険予防課健康づくり班

4月2日(月)より 健康づくり班が移転します

子どもからお年寄りまで、タイムリーかつ専門的な相談などの『保健予防の拠点』として充実していくため、町保険予防課健康づくり班は役場庁舎から保健センターに移ります。

母子健康手帳の交付やがん検診の申し込みなどは保健センターでの受付となりますのでご了承ください。

（☎71-7100、FAX72-6086）

●♀中島バス停より徒歩約3分

町の木 つばき　町の花 カンナ　町の鳥 ヤマガラ

子どもの笑顔を地域でサポート

核家族化や少子化、共働き世帯の増加など、社会の変化で「子育てが難しい」と感じる保護者が増えています。

子どもの笑顔のため、保護者がゆとりをもって育児ができるよう、町は従来の子育て支援のほか、新たな事業を始めました。

今までの支援と“何”が違うのでしょうか。

育児の「閉塞感」と「不安感」解消に

子育て中の家庭から「子育てが不安。」「万一の際に、頼れる人がいない。」といった声を聞きます。

昔と違い、子育てに不慣れな親が、就労などのため頼れる人がいない土地で子育てをせざるをえない場合が増えているためです。

町では今までも「緊急一時保育」や「育児相談」、保育園の「園庭解放」など、お子さんを預かったり、専門の保育士と交流できたりする支援で、保護者の「閉塞感」や「不安感」を少しでも解消できるよう取り組んできました。

地域の力で子育てサービス

昨年10月から、地域の力を生かしたファミリー・サポート・センター事業（以下、ファミサポ）を始め、より柔軟な支援ができるようになりました。

事業の最大の特徴は「預かれる人」と「預かれる人」の条件が合えば、時間や支援内容を柔軟に組み合わせられることです。

また、コーディネーターがサービスに応じて仲介をするため、初めて利用する方でも安心してお願いすることができます。

ファミサポのもう一つの目的

ファミサポは、単に必要なサービスを提供するだけではなく、孤立しがちな子育て世帯と地域とを結びつける目的もあります。

預けた人と預かった人との交流により、サービス以外の場でも地域の一員としての輪が生まれ、地域で子育てをする雰囲気がつくられていくと考えています。

「子育てしやすい町」であるためには、サービスの充実はもちろんのこと、子育てに対して温かい町であることが必要不可欠だからです。

ファミサポは、地域の子育て支援のため、地域の方のお時間をいただくことで運営ができています。

コーディネーターは、預かっていただく方々に過度の負担とならないよう、また、子育て中の方の希望に可能な限りお応えできるよう調整することが仕事です。

預かる人も預ける人も、お互い気持ちの良い関係が保てることを第一に調整しています。

ぜひ、お気軽にご相談ください。

コーディネーターの石井さん

求められる地域の支援者

開設から約半年を迎えますが、課題もあります。

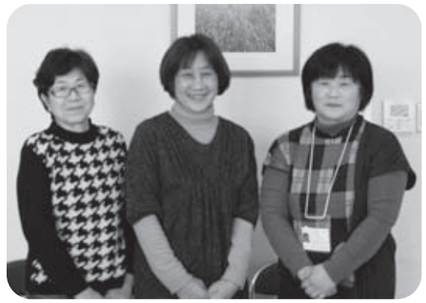
「預けたい人」（おねがい会員）の登録は毎月増えていますが「預かれる人」（まかせて会員）の登録は、比較するとそれほど増えていません。

これから増加が見込まれる多様な支援ニーズに応えるために、子育てを見守る人を増やすことが今後の課題です。

運営主体である町社会福祉協議会では、地域で支援していただける方の登録を増やすため、年2回の研修会のほか、定期的に登録会員が集まる情報交換会の見学も実施しています。

また、ある程度の人数が集まれば、会員との交流の場を設定いたします。お気軽にご相談ください。

問い合わせ
福祉課子育て支援班
町社会福祉協議会ファミサポ専用回線
☎75-9730



まかせて会員の皆さん。現在15名に登録いただいています。

～まかせて会員さんのホンネ～

- 夫婦二人なので、お子さんがいると夕食が楽しいです。（経験者）
- 近所の子を預かることはありますが、少し不安です。研修に参加して勉強中です。（未経験者）

育児にほっと一息 子育てサロン

駅南口と百合が丘には、就学前の親子であれば誰でも利用できる子育てサロンがあります。

家の中で幼い子どもとずっと一緒にいると、誰かと話がしたくなる時がありませんか？

そんなときは、ぜひ子育てサロンに遊びに来てください。

使い方はいろいろ

子育てサロンは「人と話がしたい」「子育て仲間をつくりたい」「子どもを遊ばせたい」など、さまざまな場面で気軽に利用できます。

また、経験豊富な育児相談員が常駐しているので、お子さんの発達や接し方についても相談できます。

雰囲気もいろいろ

二つの施設は立地や設備も異なるため、雰囲気も違います。

駅南口の栄通り子育てサロンは比較的広くおもちゃも豊富で、交流するには適しています。

百合が丘子育てサロンは、こじんまりしているため、アットホームで親子のサロンデビューやゆっくり相談するには適しています。

栄通り子育てサロン

楽しめてためになる親子講座も毎月開催

両子育てサロンでは、絵本の読み聞かせや歌遊び、おもちゃ作りなど、楽しめてためになる講座を毎月1回開催しています。

スケジュールは町ホームページもしくは毎月発行のお知らせ版をご覧ください。

問い合わせ
福祉課子育て支援班

怒らない子育て
「そだれん」講座企画中！

「しからないで育てたいけど、つい怒ってしまう」。そんな悩みはありませんか？

来年度の「そだれん」講座でそんな悩みに応える技をお伝えします。詳細は決まり次第お知らせします。

パパも子育てをたのしもう！
子育てゼミナール　～パパ向け育児教室～

近年、子育てにおける父親の役割が変わってきています。

核家族化や夫婦共働き家族の増加などにより母親の育児への負担感は大きくなっています。

パパと一緒にクリスマススイーツクッキングのようす

こうした状況を受け、厚生労働省は「イクメンプロジェクト」を平成22年6月に始動させました。町でも同年すぐに同プロジェクト座長を務めるファザーリング・ジャパン代表理事の安藤哲也氏をお招きしてイクメン講座を開催しました。

平成23年度は、安藤氏による「パパ力アップ講座＆イクメン交流会」のほか、「父親ならではの絵本選び・絵本タイム」、「木の実クラフト作り」、「クリスマススイーツクッキング」など子育てゼミナール全4回を、パパ向け育児教室として開催しました。

また、子育てゼミナールとは別にパパ向け育児教室「産後のママの支え方」も開催し、社会問題にもなっている産後うつに関する講座も開催しました。

受講後のアンケートからは、「パパと子どもが参加する講座を増やして欲しい」「夫と妻とでは子育てにする考え方が違うため、それぞれに対し、思いやりが必要と感じた」、「二人で育児を協力していこうと改めて思った」などの声があり、講座を通してパパたちの新しい気づきに一役買えたようです。

また、講師を「ヘルスメイト二宮」やにのみや町民大学専門講座出身の「よろぎ会」のような地元の方にもお願いし、地域の力を子育てに生かす取り組みもしています。

産後のママの
支え方講座のようす

平成24年度も、子育てを応援するゼミナールを開催する予定です。仕事も子育ても楽しむライフスタイルを見つけること、お子様の健やかな成長の手助けとなるような講座を企画します。ぜひご参加ください。

街じゅうがキミのあそび場になる！
こどもゆうゆうスペース

隔週土曜日の午前中に、子どもの安心・安全な居場所づくりとして、ラディアンや温水プールなど町内5施設で小学1～6年生を対象に、子どもが自由に遊んだり学んだりできる場所を提供しています。

平成24年度も開催予定です。

※登録・保険料…1人1年間500円

問い合わせ
生涯学習課生涯学習班

幼児水泳教室や小学生水泳教室も開催しています

満4歳～6歳を対象とした幼児水泳教室は、水慣れを中心とした初心者向けで、個々の泳力に合わせて指導しており、毎回多くの応募があり好評をいただいています。また、小学生水泳教室は1～6年生を対象に水慣れから4泳法まで個々の泳力に合わせて指導しています。両教室とも参加費は、1回500円（入場料は別）で、4月からも開催する予定です。

問い合わせ　生涯学習課生涯スポーツ班

コミュニティバスに乗って
生活の足を守ろう！！

絵本で子育て

図書館では赤ちゃんからお年寄りまで、誰でも気軽に使えるようにサービスを行っています。
子どもたちの成長・発達にとって、絵本や言葉とふれあう機会はとても大切です。子育て中のママ・パパも、どうぞご利用ください。

赤ちゃんから絵本！

絵本は子どもの好奇心を刺激し、親と子を結ぶ大切な架け橋でもあります。

言葉を話せない赤ちゃんが理解できるの？――大丈夫です。赤ちゃんは生後3～4か月くらいで物をじっと見るようになります。絵本の鮮やかな色や、ページをめくる動きに反応しています。

町では4か月健診時に、赤ちゃんにはじめての絵本をプレゼントする「ブックスタート」を行っています。おすすめの絵本3冊の中から1冊をプレゼント。図書館が作成したおすすめ絵本を紹介する「あかちゃんがはじめてであう絵本」冊子もお渡しします。冊子は「絵本と過ごすひとときが幸せな時間となるよう」職員の願いが込められています。

こどものほんコーナーにもあります

赤ちゃんと絵本をひらくひとときをもってほしいそれがブックスタートにわる人々の思いです。

また、図書館にはさわって楽しむ布の絵本もあります。布の持つ温かさは小さなお子さんとのふれあいに最適です。

子ども向けサービス　赤ちゃんから小学生まで

図書館では、お子さんの年齢に合わせ、本や言葉と出合うきっかけとなるような催しを実施しています。

0歳児
ブックスタート

0～3歳児
わらべうたであそぼう
わらべうたや言葉のやりとりを楽しみながら、親子のふれあいを深めます。

2～3歳児
ちいちゃいおはなし会
絵本やおはなしを親子で楽しみます。

幼児～小学生
おはなし会とおりがみあそび
読み聞かせのほか、おはなしや季節に合わせた折り紙をします。

小学生以上
おおきいおはなし会
ちょっと長めでしっかりとしたおはなしを楽しみます。

子育て中のママ・パパにおすすめ！

◆子育て情報コーナー（図書館1階）
子育て中の方に役立つイベント情報などのチラシや冊子を集めています。あわせて「子育て関連図書コーナー」で図書の紹介などもしています。

◆図書館託児サービス（試行）
図書館利用中に3歳以下のお子さんをお預かりします。（町内在住対象、毎月1回）
詳細は広報お知らせ版でご確認ください。

問い合わせ
生涯学習課図書館班

町では、さまざまな部署が連携しながら、二宮町で子育てをしている方をサポートしています。

一人で悩まないで町のサービスを上手に利用して、もっと子育てを楽しみましょう。

地域の「絆」を強くする!

地区長連絡協議会の活動
～今こそ地域に結束力を！～

「住みよい町」の定義とは人によって様々ですが、それよりももっと日常の生活につながるのが**『困った時に助け合える地域のご近所づきあい』**です。災害時など“万が一”の際には、近所の人たちの助け合いがなによりも大切になります。

そんな、生活の基盤である「地域」に携わる「地区長制度」をご紹介します。

地区長の活動とは

地区長連絡協議会（会長・露木一色地区長）は、地域の代表である「地区長」全20名で組織され、毎月の役員会と、2か月に1回の全体会で、町や地域が現在抱えている課題解決や、魅力ある町づくりのため、各地域や関係団体と協議・情報交換をしています。

また、地域の方々の声をまとめ、防犯パトロールや夏まつりなど独自の展開をするなど、皆さんが安心して住める町を目指すため、日頃から各方面と連携しながら地域コミュニティーの構築を推進しています。

平成23年度の地区長研修会にて

自主的な研究会活動

連絡協議会では、3つの部門に分かれ、特色ある町づくりや地域活動の活性化のため、自主的な研究・活動をしています。

本年度は東日本大震災をかんがみ、防災関連に絞って研究を進めました。

◆要援護者対策部門

役場関係職員と要援護者支援体制や重要な情報について調査をしました。

◎要援護者リストへの登録調査の徹底

◎安否確認「黄色いハンカチ運動」の指導

◆避難所運営部門

災害時の生活拠点となる避難所の形態を調査しました。

◎災害発生から時系列での課題と対応を検討

◎避難拠点基地の安全確保と生活上のルール作りの提言

◆自主防災強化部門

災害発生後、公助が機能するまでの3日間の対応が重要と考え、現状の自主防災体制の見直しを提案しました。

◎自主防災組織の人材育成

◎防災指導員に対し、定期的に講座・講習の実施

◎防災マップの点検、修正

研究結果は町長に提出され、町政に役立てています。

信州・高山村との交流

そのほかに、地区長連絡協議会は長野県高山村との地域間交流も担っています。互いの町村を行き来する人的交流のほか、農林水産まつりでの特産品の販売や学校給食でのリンゴの提供など経済交流も進んできています。

皆さんも地域活動に積極的に参加して、町内で「絆」を深めましょう。

問い合わせ
町民課町民協働班

『うがい、手洗い、せきエチケット』でインフルエンザを予防しよう

にのみや町民活動サポートセンター

あなたの「愛町心」を支えます。

「にのみや町民活動サポートセンター」は、二宮町を愛してやまない皆さんの町民活動（ボランティア活動）を応援しています！

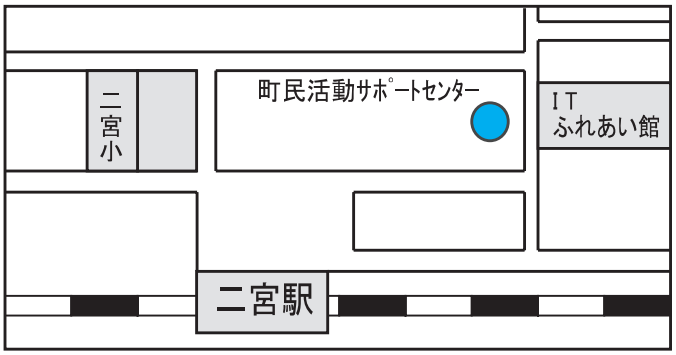
○ボランティアをやってみたい！
○町内にはどんな団体があるの？
○新たに団体登録したい！ など
皆さんのご相談にお応えします。まずはサポートセンターに来てみませんか？

町では町民活動を支援・推進・応援する施設として、平成17年12月に駅北口通り商店街に当センターを開設しました。町民活動を実施する団体や、これから実施することを計画している方々にご利用いただけます。また、道路を挟んだ向かい側にはＩＴふれあい館があり、相互にご利用いただくと便利です。

センター内には交流コーナー・展示コーナー・印刷機・コピー機などがありますが、利用にあたっては、団体登録が必要になるものもありますのでご注意ください。（下表参照）

設備名	団体登録	その他
交流コーナー	要	会議・講座・研修に利用できます。収容人数16名。ホワイトボード有り。要予約。
展示コーナー	要	各団体の活動報告書やチラシなどを置けます。
サロンコーナー	不要	簡単な打ち合わせなどに利用できます。６席。
レターケース	不要	各団体の情報伝達に利用できます。
印刷機	不要	１製版100円で、1,000枚まで印刷可能。Ａ３対応。※政治･宗教･企業･個人の活動には利用できません。
コピー機	不要	１枚10円、白黒のみ。
パソコン	要	インターネットを利用できます。

※団体登録は、センターにある「町民活動団体登録申請書」にご記入・提出してください。



町民活動サポートセンター

◆所 在 地　二宮879-11　☎70-6255
◆開館時間　９：00～19：00
◆休 館 日　毎週月曜・第２第４火曜日
　　祝日の翌日・年末年始
◆駐 車 場　建物前に１台駐車可能

災害時帰宅支援ステーション

帰宅困難者になったとき！

昨年の東日本大震災では、帰宅が困難になった方が大勢いました。

台風や大雨でも同様に帰宅困難になる可能性はあります。

外出中に公共交通機関が不通になり、帰宅困難者になった場合、多くの人が自宅まで徒歩で帰宅をすると考えられます。

では大混雑が発生しとても危険です。

まず落ち着いて正確な情報を収集しましょう。そして、帰宅途中で混乱しないためにも、安全なところに留まることを検討し、むやみに行動しないようにしましょう。

帰宅困難者になった場合に備え、「電車やバスが動かなくなった場合には、どうすればいいのか」日ごろから考えておきましょう。

帰宅は状況が落ち着いてから！

多くの人が一斉に帰宅をはじめると、道路や駅周辺

帰宅困難者心得10カ条

（1）あわてず騒がず情報確認
（2）携帯ラジオをポケットに
（3）つくっておこう帰宅地図
（4）ロッカー開けたらスニーカー
（5）机の中にチョコかキャラメル
（6）安否確認（災害用伝言ダイヤルの活用など）
（7）季節に応じた冷暖準備（カイロ、カッパなど）
（8）事前に家族で話し合い
（9）歩いて帰る訓練を
（10）声を掛け合い助け合おう

「災害時帰宅支援ステーション」では、コンビニエンスストアやガソリンスタンドなどが水道水の提供やトイレの使用、地図などによる道路情報、ラジオなどで知り得た通行可能な道路に関する情報提供など、可能な範囲で協力していただけることになっています。対象の店舗には、ステッカーが掲示されています。

コンビニエンスストア、ファーストフード、ファミリーレストラン　など

ガソリンスタンド

問い合わせ
防災安全課防災安全班

二宮町暴力団排除条例

安全で安心して生活できる社会を目指して

（平成24年4月1日）

基本理念
暴力団を恐れないこと
暴力団に協力しないこと
暴力団を利用しないこと

【条例制定の背景】

平成4年に暴力団の排除に向けて「暴力団による不当な行為の防止等に関する法律」が施行され、暴力団が人の弱みにつけ込み、金品を要求する不当な行為などが禁止されました。

しかし、暴力団は暴力団組織であることを巧妙に隠し、凶悪な事件や多種多様な手段を講じて、不当に活動資金の獲得をするなど、町民の生活に不当な影響を与える存在となっています。

【暴力団の排除】

暴力団の排除は、全国的に暴力団排除条例の制定が進み、県でも平成23年4月に条例が施行され、県内各市町村においても、条例制定が進められています。

町も県の条例と連携し、町民、行政、警察、事業者と一丸になり、反社会的集団である暴力団の排除を推進するため、当条例を施行し、誰もが安全で安心な生活が営める社会の実現を目指します。

【条例の内容】

町の事業における暴力団排除や町民に対する支援、広報・啓発などを定めています。

【暴力団に関する相談窓口】

県暴力追放推進センター
☎045-201-8930

県警察本部暴力団対策課
☎0120-797049

大磯警察署
☎72-0110

問い合わせ
防災安全課防災安全班

省エネにもつながるごみの減量

ゴミを減らすためのキーワード

Reduce（リデュース）	・ごみになるものを減らす
Reuse（リユース）	・再使用
Recycle（リサイクル）	・再資源化

リデュースって何？

買物のときなどに、ごみになるものを断ったり、買わなかったりすることで、ごみそのものを減らすことです。

ごみが出ませんので、環境へ負荷をかけることがなくなります。

リサイクルにはエネルギーが必要

ペットボトルは、再資源化をするための工程に燃料や電気などのエネルギーが必要です。資源の再利用はできても、環境への負荷は決して少なくありません。

まずは、環境にやさしいリデュース・リユースの実践をお願いします。

そして、ごみが出てしまったら、リサイクルを心掛けましょう。

私たちにもできる『リデュース』

使い捨て商品を買わない

使い捨てのものではなく、長く使えるものを選びましょう。

必要ないものは買わない

本当に必要なものかどうか考えてから買いましょう。

安いから買っても、使わずにごみになることも！

冷蔵庫の中に消費期限が切れているものはありませんか？

レジ袋をもらわない

マイバッグを持参してレジ袋を断りましょう。

マイボトルやマイ箸

ステンレス製のものは、保温性が抜群で、いつでも温かいものが飲めます。

種類も豊富なマイボトル

買い物に行く
Sさん

仕事帰りに買物に行きます。マイバックも使いますが、レジ袋をかばんに入れておけば、マイバッグのかわりに！

ビール好きの
Bさん

以前は、缶ビールを買っていましたが、最近は瓶ビールを買うようになりました。リユースできるので、空き缶のごみ出しもなくなり一石二鳥！

問い合わせ
生活環境課生活環境班

浄化槽の正しい維持管理

浄化槽は、「法定検査」「保守点検」「清掃」を定期的にすることが義務付けられています。維持管理を怠ると浄化槽での処理が不十分になり、悪臭の原因にもなるので、必ず実施してください。

法定検査

浄化槽が正常に機能しているかを検査します。

●設置後の水質検査

使い始めて、3か月～8か月までの間に検査をしてください。

●定期検査

1回／年

●指定検査機関

社団法人神奈川県保健協会
☎73-0511

保守点検

設備の点検、消毒薬の補充などを定期的に点検します。

●保守点検時期・回数

浄化槽の種類によって異なります。

●保守点検業者

県の登録業者が点検

★保守点検の回数、登録業者が不明の場合は、平塚保健福祉事務所☎32-0130にお問い合わせください。

清掃

浄化槽内の汚泥を引き抜き清掃します。

●清掃回数

1回以上／年

●清掃業者

町の許可を受けた業者

★許可業者が不明の場合は、環境衛生センターへお問い合わせください。

町では、公共下水道整備を進めています。供用区域内は、下水道へ接続する義務があります。自然環境や生活環境の向上のため、下水道への接続をお願いします。

問い合わせ
生活環境課環境衛生センター班

庁用車広告の募集

町内外を走る庁用車を活用して、お店の宣伝をしてみませんか。

広告のデザイン・内容は、あらかじめ町の審査があります。掲載する広告は広告主の負担で作成していただきます。

広告掲載にあたり、県条例に基づく屋外広告物の表示許可の手続きを広告主に受けていただきます。

※掲載できない広告内容例

- 政治、宗教活動に関するもの
- 個人、団体の意見広告
- 求人広告　など

※掲載できないデザイン例

- 交通の安全を害するもの
- 運転者の誤認を招くもの

など

広告募集の詳細および広告内容などの制限は、事前にお問い合わせください。

問い合わせ
公共施設課施設管理班

募集要領	
対象となる庁用車	軽自動車のワンボックスタイプ3台を予定
広告の規格	縦50㎝×横70㎝以内
掲載期間	3か月～最大12か月
掲載方法	広告を表示したマグネットシートによる表示
掲載料金	１台につき左右両面で１か月、3,000円
募集期間	平成24年４月5日～４月20日まで ※申込数が予定車両数を超えた場合は抽選となります。
申込方法	募集期間内に所定の申込書（公共施設課で配布）に広告案を添えて公共施設課に提出

①申込書に広告案を添えて広告申込（町）
↓
②内容・デザインの審査
↓
③広告掲載の決定
↓
④県条例に基づく屋外広告物表示の申請（県）
申請窓口
平塚土木事務所許認可指導課
☎22-2711
↓
⑤屋外広告物表示の許可
↓
⑥広告のマグネットシートの制作
↓
⑦広告掲載料の納入
↓
⑧庁用車に広告表示

連載「各課の仕事紹介」

役場の業務をシリーズで紹介しています。

下水道課

◇工務班（４名）

・公共下水道整備の計画、設計、施工及び監督
・下水道施設の保守、排水設備関連　など

◇業務班（３名）

・下水道使用料や受益者負担金などの財務
・水洗化奨励金などの普及促進業務　など

家庭からの生活排水や事業場排水を終末処理場で処理し、河川へ放流するための『公共下水道』の整備、下水道施設の維持管理をしています。

皆さんに納めていただいた受益者負担金や下水道使用料は、公共下水道の整備と維持管理のための貴重な財源となっています。

町の下水管を流れる汚水を、県が管理する酒匂川流域処理場で処理することで、公共用水域の水質保全を図っています。

昨年、葛川でアユの遡上が確認されましたが、これは葛川清掃や地域の環境美化推進活動をされている皆さんのお力とともに、公共下水道が整備された供用区域で、多くの方に接続していただいたことによる水質改善が一助となっていると思います。川や海がきれいになるように、供用区域で未接続の方は、早期接続をお願いします。

下水道課では、快適な生活環境と水質保全のため、今後も効率的な下水道整備と適正な維持管理を心掛け、事業を運営していきます。

町の木「つばき」がデザインのマンホールふた

路線バス（虫窪線）が4月より再編されます！

平成24年4月から、神奈川中央交通㈱が運行している虫窪線（二02系統・磯01系統）が再編されます。また、それに伴い現在大磯町が試験的に運行している「富士見地区循環バス（コミュニティバス）」も運行を終了することとなります。

現在

路線バス
二02系統／磯01系統
（神奈川中央交通㈱運行）

大磯町富士見地区
コミュニティバス
（大磯町運行）

再編

廃止

4月以降

新たな路線バスへ

路線の一部を反映

新たな路線バスの運賃や時刻は、3月下旬頃に沿線の停留所や、神奈川中央交通㈱のホームページに掲載されますのでご確認ください。

問い合わせ
企画財政課企画調整班

新たに運行が予定されている路線バスの内容

運行開始日　平成24年4月2日㈪
運　行　日　土日祝日(年末年始含む)を除く平日
便　　数　大磯町富士見地区　12便
　　大磯町西小磯地区　2便
　　大磯町高麗地区　1便
　　※往路復路含む
運行事業者　神奈川中央交通株式会社
※町内では「二宮駅北口」「元町」「堂面」「栗谷前」「桜美園前」を通り、北東部の山側から大磯方面に向かいます。

大磯警察署だより

≪自転車の盗難が多発しています!!≫

昨年、二宮町内では約80件の自転車盗難事件が発生しました。被害にあった自転車の多くは、鍵をかけていないことで盗難されています。

＊＊＊　防犯対策３つのポイント　＊＊＊

①駐　　輪…路上や空き地に放置すると盗まれやすくなります。自転車を放置するのはやめましょう。
②　鍵　…備え付けの鍵以外にもワイヤー錠などをかけ、犯行を手間取らせましょう。
③防犯登録…盗まれた場合に発見される確率が高くなります。必ず防犯登録をしましょう。

問　大磯警察署　☎72−0110

	1月
空き巣など	1
出店荒しなど	0
ひったくり	0
車上狙い	1
自転車盗など	7
その他	2
合計	11

町の人口（平成24年2月1日現在）

総　数　29,354人　（＋16）
男　　14,260人　（＋22）
女　　15,085人　（－6）
世帯数　11,406世帯（＋2）
（　）内は前月比

※平成22年国勢調査確報値を基礎数値にしています。

資源ごみの売却価格と処理費用～目指せ！可燃ごみ50%削減～

		1月分 量	1月分 処理費用	前月との比較 量	前月との比較 処理費用
毎日出るごみ（可燃ごみ）		429,190kg	15,893,024円	−21,270kg	−1,237,164円
資源ごみ	剪定枝等	14,400kg	230,400円	−39,795kg	−636,720円
	古紙・布類	152,910kg	0円	−18,180kg	0円
	空きビン	21,310kg	35,100円	3,020kg	13,020円
	金属類	20,960kg	704,256円	−2,110kg	−70,896円
	樹脂類①②③	58,930kg	2,977,560円	770kg	107,809円
	合計	268,510kg	3,947,316円	−56,295kg	−586,787円

可燃ごみ削減率

平成18年度同期比較　**−23.5%**

売却価格 今月	町の収入 前月との比較
0円	0円
1,469,890円	−182,410円
9,520円	430円
112,648円	1,068円
6,888円	−930円
1,598,946円	−181,842円

平成23年度 2011→2012 プレイバック

2011

2012

H23.8
『ガラスのうさぎ像』平和と友情のつどい
『ガラスのうさぎ』著者　高木さん来町

H23.4
駅南北のエレベーター稼働

H23.7
節電の夏

H23.4
東日本大震災支援活動
被災地への救援物資提供

H23.10
ふたみ記念館オープン

H23.8
総合防災訓練

H23.11
湘南にのみやふるさとまつり

町体育祭
H23.10

H23.8～10
若者とのふれあいトーク

H24.1
出初式

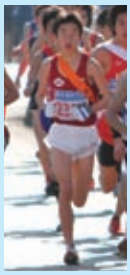
H23.5
町の鳥ヤマガラシンボルマーク決定

H23.10
ミュージックフェスタinにのみや

第66回かながわ駅伝

晴天のなか、２月12日に秦野市中央運動公園から県立相模湖公園までの７区間51.5kmをたすきでつなぐ『第66回市町村対抗かながわ駅伝競走大会』が開催されました。

二宮町は町村11チーム中７位と健闘しました。



順位	町村名	タイム	前回順位
1	大井町	2:48:44	1
2	葉山町	2:50:03	2
3	愛川町	2:54:08	4
4	大磯町	2:55:55	3
5	箱根町	3:00:00	8
6	開成町	3:02:15	7
7	二宮町	3:02:55	5
8	中井町	3:04:11	6
9	山北町	3:06:56	9
10	寒川町	3:07:16	11
11	松田町	3:08:49	10

子ども会祭り

２月12日、駅前町民会館と二宮小学校体育館で、『子祭りだョ！全員集合』をキャッチフレーズに、500名以上の親子が集まり、ステージ、体験ものづくり、作品鑑賞などを楽しみながら、二宮町の16の子ども会の『絆』を深めました。

文化財防火デー

１月26日の文化財防火デーに、越地の等覚院で消火訓練を実施しました。

近隣の住民の方々も、消火器での消火訓練など万が一の火事に備え真剣に訓練にあたっていました。

広告

新聞はASA二宮へ

朝日新聞・神奈川新聞・東京新聞・日刊スポーツ他

広告折込料金は、1,000枚で3,675円から!!

広告チラシのデザインから印刷まで、お気軽にご相談ください。

チラシの全戸ポスティングも承ります!!

お申し込み・お問い合わせ

TEL:0463-71-1157 ASA二宮 中郡二宮町中里988-5

広告

歓送迎会に圓山の懐石べんとう

ご卒業・ご入学のお祝い・歓送迎会など新しい季節の始まりは圓山の料理で

瀬の海 さばの棒寿司 3月販売日

「にの屋」（駅前町民会館）にて販売します。

3月の販売日は10日・20日・30日です。

京の味 圓山

TEL (0463)71-4919

中郡二宮町二宮110 URL:www.kyounoaji.com

広告

入園・入学記念写真

撮影日 3月17日（土）～20日（火）

入園・入学おめでとうございます。

制服、ランドセルをお持ち下さい。

先着30名様 2L 3ポーズ

1コイン【500円】承り会

HP http://miyabikimono.jp

二宮高校前 振袖の館 みやびきもの

二宮町一色1313-17 ☎0463-72-2992

広報にのみや
2012
3
No.599

編集発行　二宮町企画財政課広報統計班
☎(71)3311
FAX(73)0134

町ホームページ
アドレス　http://www.town.ninomiya.kanagawa.jp/
メールアドレス　info@town.ninomiya.kanagawa.jp

イベントスケッチ

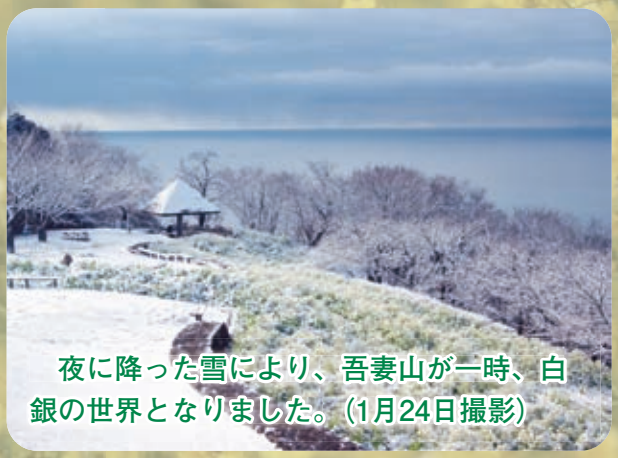
吾妻山 菜の花ウォッチング

1月14(土)
～2月12日(日)

毎年多くの観光客が訪れる≪菜の花ウォッチング≫
今年は例年に比べ気候が安定していませんでしたが、菜の花は無事に咲いてくれて、きれいな黄色いじゅうたんを楽しむことができました。(1月29日撮影)

駅前町民会館で二宮ブランド商品などが販売され、多くの方でにぎわいました。(1月29日撮影)

(1月29日撮影)



夜に降った雪により、吾妻山が一時、白銀の世界となりました。(1月24日撮影)

たくさんのつるし雛が川勾神社や知足寺できれいに飾られました。(2月5日撮影)